

令和6年度バドミントン新人大会（団体戦） 競技上の注意事項

- ① 試合順序は、複1・複2・単1・単2・単3で行い、単1の選手が複1・2、単2・3を兼ねることはできません。1対抗戦3マッチ先取で行います。得点制限は行いません。すべての試合において次の試合まで15分を空けます。ベンチは主審からコートを見てトーナメント番号の若番が右側、後番が左側に座ってください。
- ② 各試合のシャトルは「3個」、本部からの支給とします。超過分については各校の相対で補給をお願いします。シャトルの温度番号は「4番」です。
- ③ 各対抗戦のマッチごとに2分間の練習時間を設定します。ただし、1日目は練習時間を設けません。主審は時間の計測を行ってください。
- ④ 試合（マッチ）中のシャトルの交換、水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、自分のバックに入れてください。ベンチでのタオル、水分補給は認めないため、必ず主審横にバックを置いてください。
- ⑤ 各コートの1試合目は本部からの指定で行います。本部のコールをよく確認してください。2試合目以降からは前試合の敗者校が主審兼サービスジャッジ、線審、得点表示の計4名をだして行ってください。ルールのおぼつかない1年生が審判をすることのないようにお願いします。

サービスジャッジは、ポストにコート面から1.15m高さのところにマークがありますので、そのマークを基準にコート面から1.15m高さのところに水平面をイメージし、判定してください。

スコアボードは本部から運ばれますので敗者校はそのままコートに残り、搬入を待ってください。ベスト8に残った学校は、審判があるので（2日目）最後まで帰らずに待機しててください。

- ⑥ 線審はアウトのコール、シグナルをきちんと行ってください。必ず大会出場者もしくは、ルール理解者が審判を行うようにしてください。得点板のマッチカウントは選手にあわせて表示します。
- ⑦ 着席のうえ、拍手・声援は許可します。ただし、インターバル中の複数人で合わせた応援や歌などは禁止します。
- ⑧ インターバル中、競技区域付近でのアドバイスは、監督・コーチなど同時に2名までです。
- ⑨ 本大会は、2024年度 日本バドミントン協会競技規則に準じて進行します。サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。ゲーム内、11点の際の60秒のインターバルを主審は必ずコールし、プレイヤーも確認してください。ゲーム間は120秒です。両者とも残り20秒でコートインをお願いします。ストップウォッチを必ず使用してください。遅れた場合はフォルトとなります。
- ⑩ 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では当該選手と監督に限ります。必要な場合はレフェリーを呼んでください。
- ⑪ サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。以下のルール改正に伴い、スピンサーブはフォルトとなります。バドミントン競技規則 第9条 サービス 第1項（5）サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初 にシャトルの台を打つものとする。